

初期設定説明書

2025.11.12 Var1.3

1. はじめに

弊社の「簡単日本語入力キーボード P510B」をお買上頂き誠にありがとうございます。

本明書は、「簡単日本語入力キーボード P510B」をご購入頂いたお客様が、最初に一度だけおやり頂く初期設定の説明書です。実際にこのキーボードをお使い頂く方は別冊「文字入力説明書」をご覧ください。

本設定説明書に基づき、初期設定をお願い致します。設定後は本書を判り易い所に保存頂き、このソフトウェアを使用しなくなった時には、PCの設定を元に戻して頂く様にお願い致します。

2. 本製品の同梱品

商品としての納品物は下記のとおりです。商品受け取り後内容物をご確認ください。

- キーボード本体（サンワサプライ製有線モデル 400-NT009）
- 接続用 USB ケーブル
- キーカバー引抜工具
- プログラマブルテンキー取扱説明書
- 初期設定説明書（本書）
- 文字入力説明書
- 片手キーボード P510B サポート CD
 - ・ 本書の PDF ファイル
 - ・ 文字入力説明書の PDF ファイル
 - ・ キーラベル印刷用 PDF ファイル
 - ・ キー割付ソフト「400-NT009」
 - ・ MODE データファイル3種(400-NT009 用)
 - ・ キー変更用データファイル（Change Key 用）

3. 本製品とその初期設定の概要

片手でのキー操作で日本語入力を可能とするために、キーの割付を自由に設定できるプログラマブルテンキーを使い、可能な限り効率的に文字入力できる様キー配置をプログラムしています。

27個のキーを持つこのキーボードは、MODE 1 と MODE2 及び MODE 3 の3つの動作モードがあり、MODE を切り替えて1つのキーに3種類の文字や機能を、割付ソフト「400-NT009」で割付けしています。しかし、MODE 1 では自由に割付けできるキーは8個のみで、残りの19個はフルキーボードのテンキー部と同等のキー配置で固定的に割付けされていて、割付ソフトでは割付け対象外キーとなっています。そのためフリーソフト「Change Key」を使ってテンキー部の数字キーが出力する文字コードをフルキーボード上部の数字キーと同じにして、Shift キーと同時に押すことで記号が入力される様にするると共に、数字キーの配置を一般的テンキーと同様のレイアウトに変更します。設定変更した情報は Windows のレジストリに記録されるのですが、本片手キーボードを接続するパソコンごとに、この変更処理を行う必要があります。またパソコンに他のキーボードが接続されている場合は、そのテンキー部も設定変更の影響が及ぶ事にご留意ください。

上述した2つのソフトによってフルキーボードのほとんどのキーをこの片手キーボードに割付けでき、英字、数字、記号は勿論 Windows のかな漢字変換機能で日本語の入力ができます。

サンワサプライから提供されるキー割付けソフト「400-NT009」による割付けは出荷前に行っており、その設定情報はキーボード内に保存されているのでユーザはこのソフトを使って設定を行う必要はありません。もしユーザがキー割付けを変更したい場合は、いずれかのパソコンにサポート CD 内のファイル「400-NT009.exe」を使って、割付けソフトをインストールして設定変更してください。その際サポート CD-ROM 内の MODE データファイル「p510b_MODEdata.zip」を解凍し、展開される3つの MODE データをキー割付けソフトで「読み込み」を行うことで標準仕様の割付けが再現されます。(詳細は「プログラマブルテンキー取扱説明書」を参照してください。)

IME の入力モードを半角モードと全角モードの切り替えが MODE1 だけではなく

MODE2 と MODE3 においても可能とするために IME の設定変更機能を使って「Shift」と「Space」の同時押しで「半角/全角」キーと同じ動作をするようにします。合わせて IME ツールバーを表示するようにします。

4. 初期設定の手順

(1) テンキー部の「Enter」「Num」および「00」以外のキー全てを、それが出力する文字等を変更する設定をします。

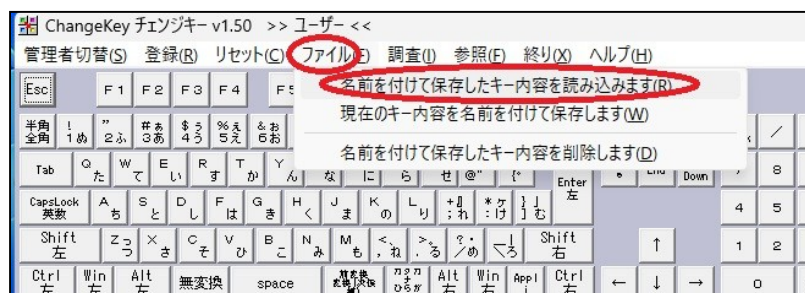
① 「Change Key」開発者のダウンロードサイト

https://satoshi3.sakura.ne.jp/f_soft/dw_win.htm にアクセスし、「Change Key」について説明した表内の「V1.5 をダウンロードする (ZIP)」をクリックしてダウンロードしてください。

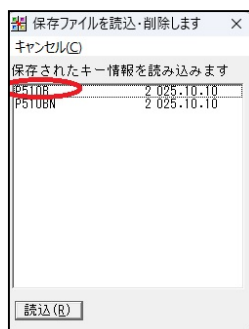
② ダウンロードした ZIP ファイルをダブルクリックして解凍し、展開されたフォルダ「ChgKey15」内に、サポート CD 内のファイル「Chgkey.ini」をコピーします。

③ 「ChgKey.exe」  を右クリックします。表示されるプルダウンリストの「管理者として 実行する」を選択します。ユーザアカウント制御の画面が表示されたら「はい」で答えれば「Change Key」が起動します。

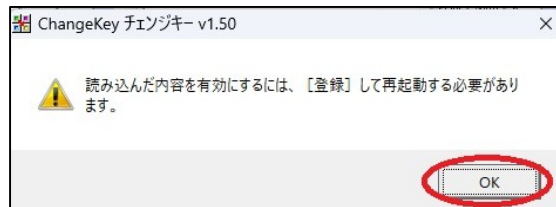
④ 「Change Key」が起動すると下図の如く 109 日本語キーボードの画面が表示されるので以下の操作を行って下さい。



● 「ファイル」をクリックし「名前を付けて保存したキー内容を・・・」をクリックします。



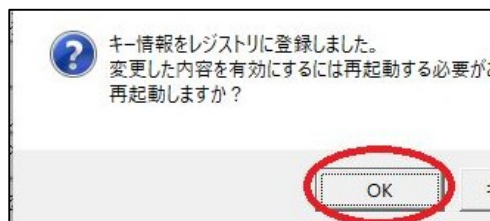
● 上図の画面が出たら P510B を選択し、「読み込」ボタンをクリックします。



●上図の画面で「OK」ボタンを押します。



●上図の如くに右側テンキー部が赤枠付きで変更状態を明示したキーボードが表示されるので「登録」をクリックし、「現在の設定内容で・・・」をクリックします。



●上図の画面で「OK」ボタンを押します。

自動的に再起動されますが、動作中のソフトがある場合は強制的に再起動してください。

以上で MODE1 におけるテンキー部キーの動作変更が完了です。再起動が完了すれば片手キーボードが利用可能となります。別冊の「文字入力説明書」に従い、本片手キーボードが適正に利用できるかを確認して下さい。

なお、設定変更を元に戻すには、「リセット」処理を行い、その後「登録」処理を行って下さい。

リセットしても「CngKey.exe」を起動し、上述した③と④の操作を再度実行すれば設定変更が再現されます。

なお本キーボードが利用段階になった後も、リセットおよび再設定を行うことがあり得るので、上述したフォルダ「ChgKey15」はパソコン内に保存しておいてください。

(2) IME の動作を変更して、「IME ツールバー」の表示および「Shift」と「Space」の同時押しで「半角/全角」と同じ働きをするようにします。

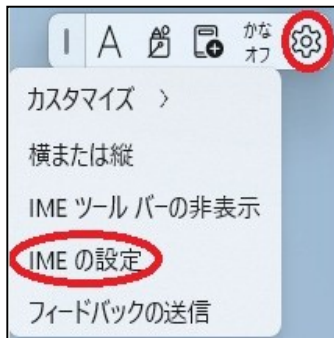
① IME 言語バーにある「あ」または「A」の表示部分を右クリックして、表示されるプルダウンメニューの「IME ツールバー (オフ)」をクリックします。その結果画面上に下図の「IME ツールバー」が表示されます。



このツールバーには IME 入力モード表示や IME 設定アイコンがあり、且つバー全体をマウスのドラッグアンドドロップ操作で好みの場所に移動できるので、IME を利用する際の利便性が向上します。

- ② Windows の「設定」における「キーの割り当て」機能で「Shift」+「Space」の操作をした場合「半角/全角」と同じ動作をするように設定します。これにより MODE2 および MODE3 において、IME の入力モードを切り替えることができますようになります。すなわち、よく使う MODE2 から MODE1 に切り替えて「全角/半角」を押すのではなく、モードの切り替えなしで半角モードと全角モードの切り替えができて操作性が良くなります。

設定手順を以下に示します。



IME ツールバーの「設定」（歯車マーク）をクリックし表示されたプルダウンメニューにおいて「IME の設定」を選択



左図画面で「キーとタッチのカスタマイズ」をクリック



割当機能ボタンをクリックして「オン」にし、また「Shift+Space」の項目で「IME-オン/オフ」を選択

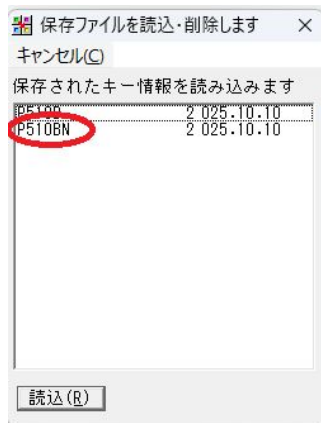
以上で設定が完了するので IME の設定画面を閉じます。

5. 数字はパソコン付属のキーボードで入力する場合

P510B の標準仕様では MODE 1 における数字キーの配列を「ChangeKey」ソフトで変更し、横向きに置いた P510B の数字キーの並び順を通常のテンキーの並びに準じるようにしています。しかしパソコン付属のキーボードを併用している場合、この変更によってそのキーボードのテンキーも並び順が変わってしまいます。数字の入力はパソコン付属のキーボードで行うユーザもいると思われるので、数字および四則演算記号の並び順は変更しない仕様も利用可能となっています。この場合 Shift モードで数字キーを押して記号文字の入力ができるようにしたいので、数字キーを押した場合の出力文字コードをテンキー押下時の文字コードではなく、パソコン付属のキーボード上部に横一列に並んだ数字キーと同一の文字コードを出力するための変更を「Change Key」ソフトで行います。

テンキー部をこの仕様に基づいたキーレイアウトに変更するには、「4章 初期設定の手順(1)」の操作において、フォルダ「ChgKey15」内にサポート CD-ROM からコピーした「chgkey.ini」に「P510BN」の名前でファイル登録してありますのでそれを読込んでください。(下図左参照)

また数字キーの並び順が標準仕様と異なる設定になるので、キーラベルも下図右の通りに変わります。サポート CD 内の「p510b-label.pdf」を印刷して”数字キーの並び順変更なし用”のラベルをカットして P510B のキーラベルを差し替えてください。



0	1 !	4 \$	7 '	Num	Esc	半角/全角
G Ctrl	Z C	D F	P J	B Q	W V	R X
00	2 "	5 %	8 (	/	Home	カタカナ ひらがな
K Tab	S - =	T ^ ~	N ¥	H @ ,	M [{	Y] }
.	3 #	6 &	9)	*	End	英小文字/ 英大文字
Shift	A ; +	I : *	U , <	E . >	O / ?	L \ _
Enter	+ 無変換	- ←	Back Space	Del →	Space 変換	

このドキュメントの著作権は下記法人が所有します。

特 定 非 営 利 活 動 法 人 P I C O

所在地 愛知県名古屋市名東区梅森坂西 1 1 2 0 番地

電 話 080-9282-9768

メールアドレス info2@npo-pico.com